

## 契約理由書

1. 業務件名 令和7年度大分川水系浸水想定区域図検討外業務

2. 履行場所 大分川流域

3. 契約の相手方 住所：大分県大分市大字曲936番地1  
会社名：九州建設コンサルタント株式会社  
電話：097-569-9632

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、大分川の気候変動を考慮した河川整備基本方針変更に伴う基本高水の見直し及び現状の河道整備状況、沿川の土地利用状況等を踏まえ、大分川水系直轄管理区間（大分川、七瀬川、賀来川）における洪水浸水想定区域図（想定最大L2、計画規模L1）の見直しを行うものである。

2) 業務の内容

計画準備、資料収集整理、対象外力の設定、浸水解析モデルの更新、浸水解析、家屋倒壊等氾濫想定区域の更新検討、既往洪水浸水想定区域図との比較検討、洪水浸水想定区域図の更新、内外水一体の多段階浸想図、水害リスクマップ作成、電子化データの作成、危険箇所調書等の作成、重要水防調書等作成及び水防情報図更新、報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を27者が入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に評価テーマの「大分川、七瀬川、賀来川の河道特性及び氾濫域の特性を踏まえた業務を進める上での留意すべき事項について」に対する技術提案について与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、説得力があり、提案を裏付ける内容が十分に示されており、最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

大分河川国道事務所 流域治水課長